

GIGAスクール構想のもとでの 中学校保健体育科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの保健体育科の指導において ICTを活用する際のポイント

新学習指導要領とICT活用の関係

(3) 第2の内容の指導に当たっては、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用して、各分野の特質に応じた学習活動を行うよう工夫すること。

[中学校学習指導要領(平成29年告示) 保健体育]

例えば、体育分野においては、学習に必要な情報の収集やデータの管理・分析、課題の発見や解決方法の選択などにおけるICTの活用が考えられる。また、保健分野においては、健康情報の収集、健康課題の発見や解決方法の選択における情報通信ネットワーク等の活用などが考えられる。

なお、運動の実践では、補助的手段として活用するとともに、効果的なソフトやプログラムの活用を図るなど、**活動そのものの低下を招かないよう留意することが大切**である。

また、情報機器の使用と健康との関わりについて取り扱うことにも配慮することが大切である。

[中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編]

GIGAスクール構想のもとでの保健体育科の指導において ICTを活用する際のポイント

保健体育科で育成を目指す資質・能力と1人1台のICT端末の活用

保健体育科では、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現することを目指し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力の育成を重視している。これらの資質・能力を育成する上で、GIGAスクール構想のもとでの1人1台のICT端末の活用に当たり、以下のような活用場面と活用の効果が考えられる。

知識及び技能の習得の場面

技ごとの動画を繰り返し視聴したり、スローで再生したりする。

知識の理解が深まる。

AEDの使用手順を動画で再確認する。

撮影した自分の取組動画を視聴する。

修正点を意識して、再度実施することで、技能が確実に習得される。



思考力、判断力、表現力等の育成の場面

各自の視点で、ゲームの撮影動画を確認することで、チームの特徴に応じた作戦を考える。

各自で考えたチームの特徴に応じた作戦をチーム内で話し合う。

思考力、判断力、表現力等の育成が促進される。



学びに向かう力、人間性等の涵養の場面

過去の自分の記録や動きを確認する。

自己の変容を確認する。

愛好的な態度の涵養につながる。



※上記の例はあくまで一例であり、今後、更なる効果的な活用が期待される。

GIGAスクール構想のもとでの保健体育科の指導において ICTを活用する際のポイント

課題とICT活用による生徒の期待できる姿

【課題】

- * 運動する子供とそうでない子供の二極化傾向
- * 運動時間の減少に伴う体力の低下
- * 健康課題を発見し、主体的に課題解決に取り組む学習が不十分

【保健体育の授業において三つの資質・能力を育成する中で、ICTを効果的に活用することで、以下のような更なる効果が期待できる】

知識及び技能の習得	思考力, 判断力, 表現力等の育成	学びに向かう力, 人間性等の涵養
運動の行い方の理解 技能の習得	自己や仲間の課題の発見 練習方法の工夫・改善	仲間との教え合いの充実 自己の変容の確認

【その結果, 以下のような生徒の姿が期待できる】

- 苦手だった運動ができるようになり, 運動が好きになる。
- 運動することへの意欲が高まり, 積極的に運動するようになる。
- 自己の健康課題に主体的に取り組むようになる。

中学校・第2学年・保健体育・器械運動（マット運動）①

育成を目指す資質・能力

（1）知識及び技能

次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うこと。
ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。

（2）思考力、判断力、表現力等

技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。

（3）学びに向かう力、人間性等

器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど、健康・安全に気を配ること。

ICT活用のポイント

- ・ICT端末の活用により、各自が技能の習得状況を的確に把握することで個別最適な学びにつなげる。
- ・撮影した動画を仲間同士で確認して助言したりすることなどを通じて、課題解決に向けた協働的な学びを実現する。

事例の概要

導入

- クラウド上に保存されている前時の自己の動きと模範動画とを対比することで、自己の学習の実現状況及び個別の課題を把握する。

展開

- 個人での課題把握を踏まえ、課題解決に向けた個別最適な学びの充実を図る。
- 課題解決の場面において、生徒同士が撮影した動画を活用し、仲間の課題や出来映えを伝えるなどのことを通じて、協働的な学びの充実を図る。

まとめ

- 前時に撮影した動画と本時に撮影した動画を比較し、自己の変容を確認することで、次時以降の主体的な学びに結び付ける。

授業終了後

- 教師は、クラウド上に保存された生徒の自己評価シートや学習カードなどにコメントを記入するとともに、生徒の記述内容を分析し、次時以降の指導改善に生かす。

中学校・第2学年・保健体育・器械運動（マット運動）②

～ICT端末の写真撮影機能を使い、自己の課題を思考し判断するとともに仲間の課題や出来映えを伝える～

【事例におけるICT活用のポイント①】



【事例におけるICT活用のポイント②】



【事例におけるICT活用のポイント③】



【ICT端末、クラウドの活用のメリット】

【生徒の支援】

- 授業導入時にクラウドに保存されている前時までの自己の動きを確認し、各自が課題を把握した上で個別の課題設定に応じた練習方法や練習の場を選択して活動する。
- 同じ課題を持つ仲間同士で技を行う様子を撮影し、模範動画の動きと仲間の動きを比較しながら、仲間の課題や出来映えを伝える。
- 前時に撮影した動画と、本時の展開の場面で撮影した動画を比較し、本時の目標の達成状況を確認するとともに動画をクラウドに保存する。
- クラウド内に保存されている自己評価シートや学習カードなどのファイルを開き、振り返ったことを記入し、データを保存する。

【教師の支援】

- ◆ 教師が生徒の自己評価シートや学習カードの内容を一覧にして確認したり、コメントを記入したりすることで、業務の効率化を図る。
- ◆ 「大量の文章データから有益な情報を取り出すソフト」などを活用し、クラウドに保存された生徒の自己評価シートや学習カードの記述内容から、教師が生徒の目標の達成状況や課題を考察し、授業改善に生かす。

氏名	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5
山田	0.85	0.75	0.90	0.80	0.70
田中	0.70	0.65	0.80	0.75	0.60
佐藤	0.90	0.85	0.95	0.85	0.75
鈴木	0.60	0.55	0.70	0.65	0.50
高橋	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
中村	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
小林	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
大野	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
山口	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
佐々木	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
高木	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
橋本	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
渡辺	0.70	0.65	0.75	0.65	0.55
森田	0.80	0.75	0.85	0.75	0.65
山本	0.75	0.70	0.80	0.70	0.60
水野	0.85	0.80	0.90	0.80	0.70
石川	0.65	0.60	0.75	0.65	0.55
松本					

中学校・第2学年・保健体育（応急手当の意義と実際）①

育成を目指す資質・能力

- (1) 知識及び技能
応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができること。また、心肺蘇生法などを行うこと。
- (2) 思考力, 判断力, 表現力等
傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。
- (3) 学びに向かう力, 人間性等
応急手当の意義、応急手当の実際についての学習に自主的に取り組もうとすること。

ICT活用のポイント

- ・ICT端末により、各自が知識及び技能の習得状況を的確に把握することで個別最適な学びにつなげる。
- ・撮影した動画を仲間同士で確認したり、手順やポイントを助言し合ったりすることを通じて、課題解決に向けた協働的な学びを実現する。

事例の概要

導入

- 応急手当の手順や留意点などについて、ICT端末を活用してその知識の習得状況を把握し、個別の課題を確認する。

展開

- 個人の課題把握を踏まえ、課題解決に向けた個別最適な学びの充実を図る。
- 課題解決の場面において、生徒同士が撮影した動画を活用し、仲間の課題や出来映えを伝えるなどのことを通じて、協働的な学びの充実を図る。

まとめ

- 本時に撮影した動画から、知識及び技能の習得状況を確認することで、次時以降の主体的な学びに結び付ける。

授業終了後

- 教師は、クラウド上に保存された生徒の自己評価シートや学習カードなどにコメントを記入するとともに、生徒の記述内容を分析し、次時以降の指導改善に生かす。

中学校・第2学年・保健体育（応急手当の意義と実際）②

～撮影した映像から、自己や仲間の課題を把握し、協働的な学びを通して深い学びにつなげる～

【ICT活用のポイント①】



【ICT活用のポイント②】



【ICT活用のポイント③】



【ICT端末、クラウドの活用のメリット】

【生徒の支援】

- 授業導入時にクラウドに保存されている心肺蘇生法の動画を確認し、各自が課題を把握した上で個別の課題に応じた方法で行う。
- 同じグループの仲間同士で実習の様子を撮影し、模範動画の動き方と仲間の動きを比較しながら、仲間の課題や出来映えを伝える。
- 本時に撮影した動画を友達同士で比較し、本時の目標の達成状況を確認するとともに
- 実習を通して気付いた新たな課題等について共有し、再度取り組むことにより課題の解決を図る。
- クラウド内に保存されている自己・相互評価シートや学習カードなどのファイルを開いて全体で共有しながら総括をする。

【教師の支援】

- ◆ クラウド上にある個々の生徒の記録を確認することで、教師が生徒の知識や技能の習得状況などを把握することができ授業改善につなげられる。
- ◆ 自己・相互評価シートや学習カードの内容をクラウド上に一括管理することで、単元や年間の評価を総括する際の業務の効率化を図ることができる。

【活用したソフトや機能】 動画撮影機能、学習支援ソフト

育成を目指す資質・能力

- ・喫煙、飲酒、薬物乱用が及ぼす心身への様々な影響や健康を損なう原因を理解するとともに、それらの行為を助長する要因である個人の心理状態や人間関係、社会環境などに適切に対処する必要があることを理解すること。【知識】
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用について課題を発見し、健康な生活を送るための解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うこと。【思考力、判断力、表現力等】
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすること。【学びに向かう力、人間性等】

ICT活用のポイント

- ・喫煙、飲酒、薬物乱用についての正しい知識を学び、健康な生活を送るための課題を発見することにつなげる。
- ・調べたことを仲間と共有し、身近な課題として発表することに生かす。

課題把握

個人での情報調査等

調査したこと等の共有

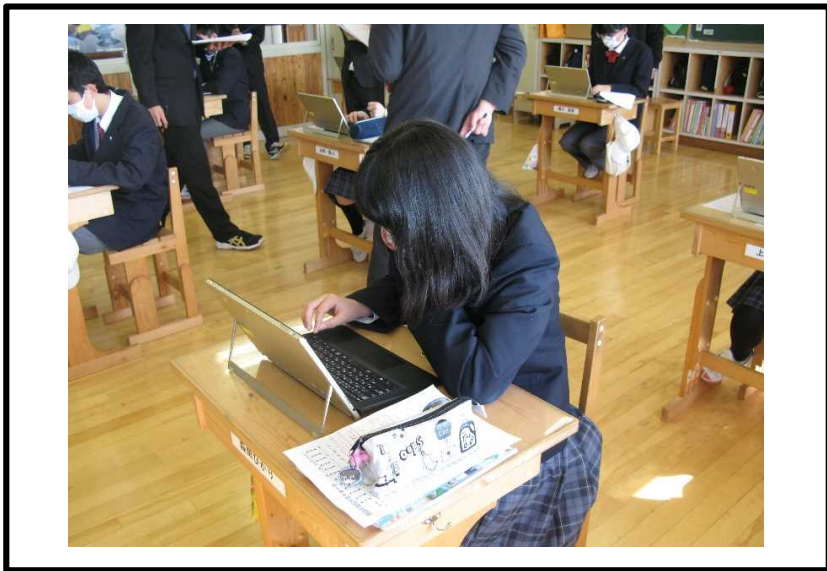
振り返り

事例の概要

- ・「生活習慣病などの予防」から生活の中で目にすることがある喫煙や飲酒、自分たちの身に迫ってきている薬物の乱用など、生徒が疑問に感じた項目をICT端末を使って調べる時間を設定する。
- ・現状について調査したことや課題と感じたこと、実践していきたいこと等を他者に伝わりやすいようにグラフや写真などを用いてプレゼンテーションソフトを使ってまとめる。
- ・生徒一人一人が作成したプレゼンテーションをグループで共有し合う時間を設ける。
- ・共有した後に、今後自分や他者の健康を高めるための解決方法として、仲間の発表からヒントになったことをさらに書き加えてまとめる。

中学校・第2学年・保健体育科（保健分野）・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康②

【ICT活用の場面①】



【ICTを効果的に活用するためのポイント】

- ・生徒が見通しをもって調べられるように、有益なウェブページをピックアップして提示する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・生徒は、課題や自分が調べたいことについて、自分のペースで調べることができる。
- ・教師は、生徒の学習の進捗や内容について教師の端末から把握することができるので、スムーズに支援を行うことができる。

【ICT活用の場面②】



【ICTを効果的に活用するためのポイント】

- ・生徒が調べたことを整理しやすいように、実態把握-課題発見-考察-発表といったワークシートをICT端末で配付する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・情報を共有する場面でICT機器を利用することで、準備が簡略化され、話し合いや共同作業の時間を増やすことができる。
- ・大型モニターやICT端末を活用することで、短時間で生徒が情報を共有することができる。

【活用したソフトや機能】

検索機能（ウェブブラウザ） プレゼンテーションソフト 学習支援ソフト

育成を目指す資質・能力

- ・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解すること。【知識】
- ・健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うこと。【思考力、判断力、表現力等】
- ・健康な生活と疾病の予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすること。【学びに向かう力、人間性等】

ICT活用のポイント

- ・科学的な根拠に基づく資料を配付することで、運動、食事、休養及び睡眠について、適切な学習方法を選択することができる。
- ・適切に資料を選べるようにウェブブラウザのURLを示すことで、多数の資料から調べ学習に必要な資料を容易に検索することができる。
- ・プレゼンテーションソフトを活用し情報を共有することで、自分と友達の提案を比較するとともに、その関連付けを考え、修正することで最終提案をつくることにつながる。

課題「A先生が健康な生活を送ることができるように改善策を提案しよう」

課題の集約と考えづくり

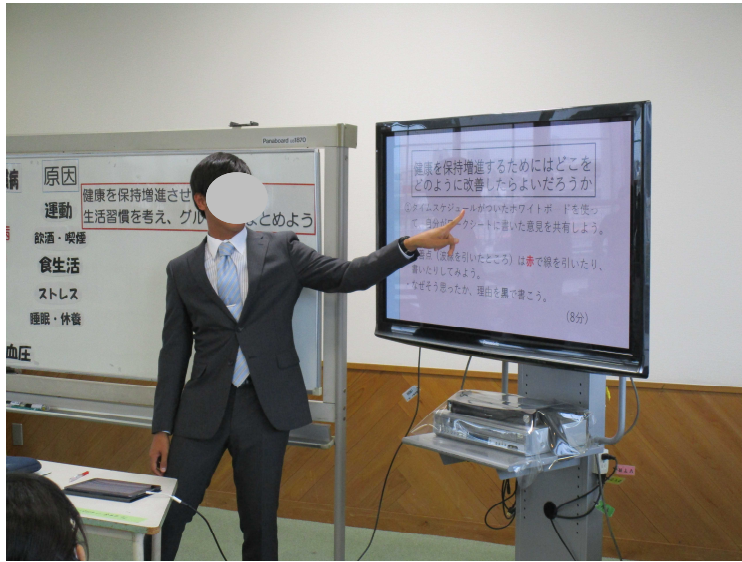
対話を基に、提案を再検討する

振り返りをする

事例の概要

- ・大型モニターやICT端末を活用し学習課題や活動の流れを提示することで、対話や考えを再構成する時間を生み出す。
- ・A先生の生活習慣のどこに課題があるのかを、表計算ソフトを活用して集約して、課題を焦点化する。
- ・ウェブブラウザで検索をして資料を選び、科学的な根拠を基に改善策を提案する。
- ・プレゼンテーションソフトを用いて生活習慣の改善策の提案を作成し、そのスライドを用いて情報交換をすることで、自分の提案を修正する活動を通して考えを深める。

【ICT活用の場面①】



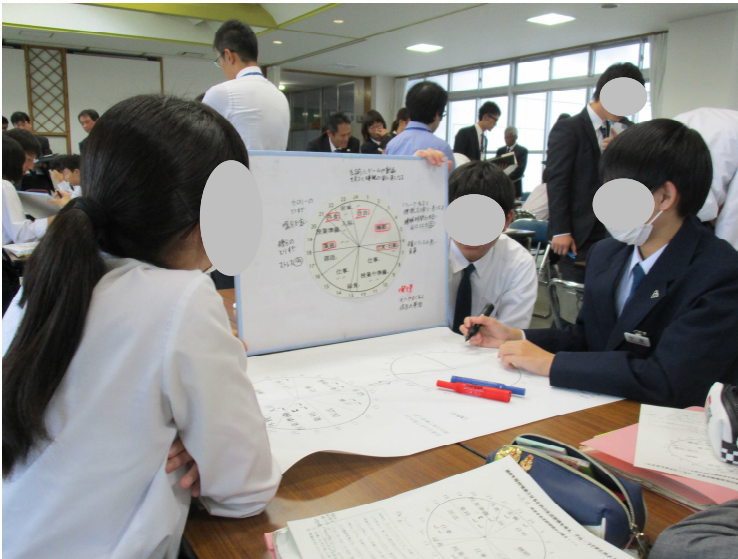
【ICT活用の場面①】

・学習課題や活動の流れを大型モニターやICT端末を用いて提示する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・複数の友達と同時に改善策を共有することができる。
- ・ICT端末を用いることで、提示物や資料を拡大して確認したり、自分のペースで確認することができる。
- ・短時間で学習課題の提示や学習の流れを示すことができ、対話や考えるための時間を生み出すことができる。

【ICT活用の場面②】



【ICT活用の場面②】

- ・科学的な根拠を基に作成した生活習慣の改善策を伝え合う。
- ・自分が作成した改善策を、情報交換を基に再構成する。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・作成したスライドを容易に修正しながら自分の最終提案をつくることができる。
 - ・学習の振り返りを文書作成ソフトで蓄積することにより、生徒が考えの変容を見返したり、確認したりすることができる。
 - ・スライドを共有することで、教師は生徒の取組状況を確認することができる。
- ※写真では、ホワイトボードを活用しているが、ICT端末を活用するとグループ討議や意見の集約・共有を手元で行うことができる。

【活用したソフトや機能】

表計算ソフト ウェブブラウザ（検索機能） プレゼンテーションソフト
文書作成ソフト

中学校・第2学年・保健体育科（保健分野）・傷害の防止①

熊本市提供

育成を目指す資質・能力

- ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因、交通事故などによる傷害の防止、自然災害による傷害の防止、応急手当の意義と具体的な方法について理解するとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けること。【知識及び技能】
- ・傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うこと。【思考力、判断力、表現力等】
- ・傷害の防止について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすること。【学びに向かう力、人間性等】

ICT活用のポイント

- ・「調べる、撮る、記録する、考えを深める、アウトプットする」といった主体的な学びにつなげるための道具として活用する。

交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因

交通事故による傷害の防止

自然災害による傷害の防止

応急手当の意義と実際

事例の概要

- 教科書のQRコードを読み取り、直接圧迫止血法、包帯法、心肺蘇生法（胸骨圧迫）の手本動画を視聴する。理解の程度に応じて再度確認したい部分を繰り返し視聴する。
- 学習支援ソフトを用いて、学習前に教師が学習シートを生徒に一斉送信し、学習後に生徒が完成した学習シートを提出する。
- ペアで動画撮影を行い、応急手当に関する知識及び技能の習得状況をお互いが確認し、伝え合う。
- 撮影した動画を全員で共有し、新たな課題の発見や課題の解決につなげる。

【ICT活用の場面①】



グループでの包帯法の実習

【ICT活用の場面②】



実習後、動画を用いた振り返り

【学習過程と事例におけるICT活用の場面との関係】

- ICTを活用して知識を身に付け、実習を通して技能を育成することで、知識と技能を一体的に学ぶ。手本動画等を基に応急手当の方法を理解し、実習では包帯法や心肺蘇生法を互いに動画撮影して技能のポイントなどを伝え合うことで、知識の習得や課題の解決につなげていく。

【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- 学習支援ソフトで学習シートを一斉配付することで、説明や話し合いを行う時間を増やすことができる。
- 動画を自分のペースに合わせて確認したり、繰り返し視聴したりすることができる。
- 動画を撮影し自分の実習を客観的に見ることで、成果や課題を発見し、知識及び技能の習得につながる。ペアで成果や課題を伝え合う場面を設定することで、思考力・判断力・表現力等の育成につながる。
- 保存した動画や学習シートは、生徒の振り返りや学習評価に生かすことができる。また、動画を日常的に再確認して活用することができる。

【活用したソフトや機能】

動画再生機能 学習支援ソフト 動画撮影機能